

I-O DATA

NEC PC-9800シリーズ

EPSON PC-386/486/586 対応

ET-98シリーズ

汎用拡張スロット用
Ethernet LANアダプタ

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

7323-01

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
- 3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器 PLANTコールセンターまでご連絡ください。
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
- 5) 本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
- 6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、1部だけ複写できるものとします。
(ただし5ボードセット品については、5ユーザーまでの使用が可能です。)
- 7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
- 8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
- 9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
- 10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関する設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだ使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)

I-O DATA, PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。

Microsoft, Windows, Windows NT, MS, MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。

Ethernetは、米国 Xerox Corporationの登録商標です。

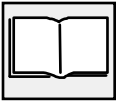
NetWareは、米国 Novell, Inc.の登録商標です。

ArtisoftとLANtasticは、米国 Artisoft, Inc.の登録商標です。

その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このたびは、汎用拡張スロット用 Ethernet LANアダプタボード「ET-98シリーズ」をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

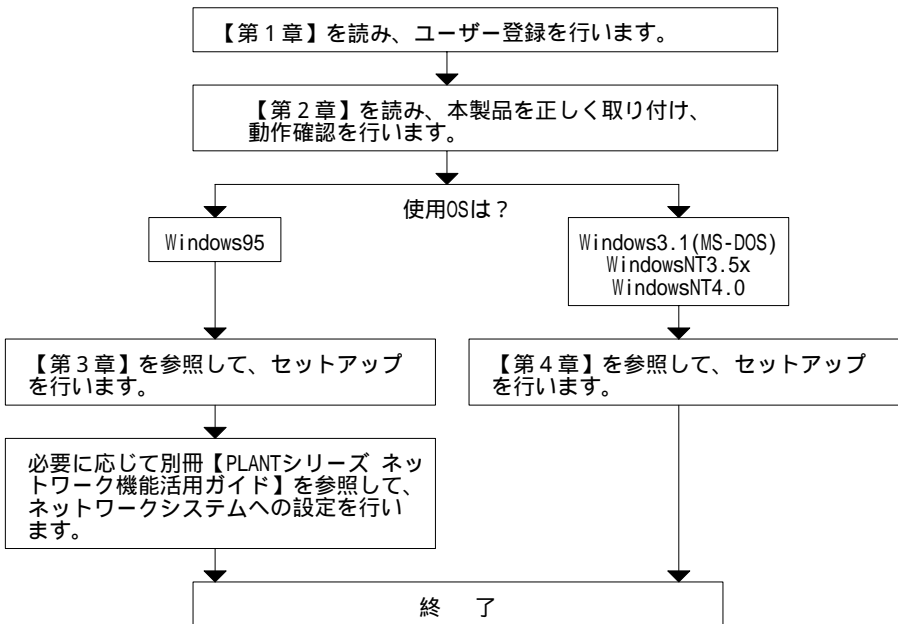
ご使用前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。



本書をご覧になるにあたって

・ 本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



・呼び方

呼び方	意味
ET-98シリーズ	ET2/T-98,ET/T-98及びET/T-98SB
「ネットワークOS」 または「NOS」	Network Operating System
Windows95	Microsoft [®] Windows [®] 95 Operating System
Windows3.1	Microsoft [®] Windows [®] Operating System Version3.1
WindowsNT4.0	Microsoft [®] WindowsNT [®] Operating System Version4.0
WindowsNT3.5x	Microsoft [®] WindowsNT [®] Operating System Version3.5 及びVersion3.51
WindowsNT	WindowsNT4.0及びWindowsNT3.5x
Windows	Windows95,Windows3.1,WindowsNT4.0及びWindowsNT3.5xの 総称
PC-9800シリーズ	NEC PC-9800シリーズ及び EPSON PC-386/486/586

・ハードウェア構成

本書では以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

(ドライブ構成)

A:ハードディスク装置

使用するOSがインストール済みで起動可能

B:ハードディスク装置

C:フロッピーディスク装置3.5インチ(1.44MB/1.25MB/720KB)

D:CD-ROMドライブ装置



注意

PC-H98シリーズをお使いの場合は、必ず「ノーマルモード」でご使用ください。

はじめに	i
目次	iii

第1章 ご使用になる前に..... 1

1.1 特徴	1
1.2 箱を開けたら	2
1.3 動作環境	4
1.4 取り扱い及び使用上の注意	5
1.5 実行用ディスクの作り方	6

第2章 取り付け方法..... 7

2.1 各部の名称	7
2.2 LEDインジケータ	8
2.3 取り付け	9
2.3.1 ET/T-98SBの取り付け	9
2.3.2 ET/T-98,ET2/T-98の取り付け	12
2.4 動作確認	14

第3章 日本語Windows95で使用するには 19

3.1 インストール方法	19
3.1.1 インストール	19
3.1.2 インストール終了後の確認	23

第4章 他のOSで使用するには..... 25

- 4.1 MS-DOS及び日本語Windows3.1へのセットアップ..... 25
 - 4.1.1 プラグ&プレイ対応パソコンへの設定..... 25
 - 4.1.2 NetWare 3.12J/4.1J/4.11Jへのセットアップ..... 29
 - サーバの設定..... 29
 - クライアントの設定..... 32
 - 4.1.3 Microsoft LAN Manager V2.1xへのセットアップ..... 33
 - 4.1.4 Personal NetWare J1.0へのセットアップ..... 34
 - 4.1.5 LANtastic 6.0へのセットアップ..... 34
- 4.2 日本語WindowsNT4.0へのセットアップ..... 35
- 4.3 日本語WindowsNT3.5xへのセットアップ..... 40

付録1 困った時には..... 42

- 自己診断中のトラブル..... 42
- Windows上でのトラブル..... 45

付録2 仕様..... 49

- 付2.1 パソコン環境..... 49
- 付2.2 ハードウェア仕様..... 52
 - PLANTコールセンターへのお問い合わせ..... 53
 - サポートソフトのバージョンアップ..... 54
 - 5インチメディアへの交換サービス..... 55
 - 修理について..... 57

第1章 ご使用になる前に

この章では、ET-98シリーズをご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

1.1 特徴

Ethernet IEEE 802.3に準拠しています。

ACCTON社のMPX2(Multi Packet Accelerator 2)テクノロジーによって環境設定やデータのスループットなどに高いパフォーマンスが得られます。

フル・デュプレクス機能に対応しています。

フル・デュプレクス機能に対応しているスイッチングハブなどと組み合わせることにより同時にデータの送受信が行え、より高いパフォーマンス(理論値:2倍[環境によって異なります])が得られます。

98セカンドバスTYPE を搭載し、拡張スロットを節約しながら機能拡張が図れます。

ネットワーク状態の監視用LEDインジケータが装備されています。

RJ-45[10BASE-T](ET2/T-98の場合はBNC[10BASE2]も使用可能です)が使用できません。

ソフトウェアで環境設定を行うスイッチレス設計です。

Novell NetWare,Windows95,WindowsNTに対応しています。

12 箱を開けたら

・内容のご確認

・スタンダードセット

内容物	個数	備考
LANアダプタボード	1枚	ET/T-98,ET2/T-98またはET/T-98SB
ET-98シリーズサポートソフト	1枚	3.5インチ2HD(1.25MB)
取扱説明書	1冊	本書
PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド	1冊	
Verシール	1枚	
ハードウェア保証書	1枚	
ハードウェアシリアルNo.シール	1枚	
ユーザー登録カード	1枚	本書巻末
BNC T型コネクタ	1個	ET2/T-98のみ添付
ボードカバー	1個	ET/T-98SBのみ添付
ロッキング・カード・スペーサ	1個	ET/T-98SBのみ添付
フックピンとロックピン(予備)	各2個	ET/T-98SBのみ添付
『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

・5ボードセット

内容物	個数	備考
LANアダプタボード	5枚	ET/T-98
ET-98シリーズサポートソフト	1枚	3.5インチ2HD(1.25MB) 本ソフトウェアは、1セット分で5ユーザまで使用可能です。
取扱説明書	1冊	本書
PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド	1冊	
Verシール	1枚	
ハードウェア保証書	5枚	
ハードウェアシリアルNo.シール	5枚	
ユーザー登録カード	1枚	本書巻末
『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

万が一、不足がございましたら弊社PLANTコールセンターまでお知らせください。

お願い:箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

・ ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。

いずれかの方法で登録を行ってください。

(オンラインによる登録) (インターネット <http://www.iodata.co.jp/support/>)

I-O DATA ホームページのサポートコーナーに「オンライン・ユーザー登録」

ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の

案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入することにより、
即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録を行えば、抽選で賞品が当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。

オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

(ハガキによる登録)

- 1)添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。
- 2)ユーザー登録カードに添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼り、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。



注意

1)弊社では、PLANTコールセンターでの質問受け付けやソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録してください。

2)ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれ(ユーザー登録カードの場合は、必要なシールの貼り忘れなど)があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

13 動作環境

ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

- ・ パソコン本体の機種

- ・CPU 386SX以上の以下のパソコン
 - ・NEC PC-9800シリーズ
 - ・EPSON PC-386/486/586シリーズのデスクトップタイプ
- ・ET/T-98SBの場合は、98セカンドバスTYPE ベースボードが必要です。
(弊社製SC-98 ,SC-98 PSB,GA-DRVx/98,RSA-98 /Sなど)



注意

- 1) パソコン本体をノーマルモードにしてご使用ください。
- 2) ET/T-98SBの場合、動作可能なパソコン本体の機種は、ET/T-98SBを取り付ける98セカンドバスTYPE ベースボードの対応機種にも依存します。

- ・ 対応OS環境

- 日本語Windows95
- 日本語WindowsNT4.0/3.5x
- 日本語Windows3.1(MS-DOS Ver 3.30C以降)
- MS-DOS Ver 3.30C以降

- ・ 対応NOS環境

クライアント・サーバ

- 日本語Windows95
- 日本語WindowsNT4.0/3.5x
- NetWare 3.12J/4.1J/4.11J
- Microsoft LAN Manager V2.1xJ

ピア・ツー・ピア

- 日本語Windows95
- 日本語WindowsNT4.0/3.5x
- Personal NetWare J1.0
- LANtastic 6.0
- LANtastic for Windows95

ネットワークプロトコル

- packet driver for FTP TCP/IP
- ODI4.0/NDIS2.x,3.x

14 取り扱い及び使用上の注意

- ・ 本製品の取り付けや取り外しは、必ずパソコン本体及び周辺機器の電源を切り、コンセントを外してから行ってください。故障の原因になることがあります。
- ・ 本製品は精密機器です。落としたり衝撃を加えないよう、丁寧に取り扱いってください。
- ・ 本製品に対し、以下のことを行わないでください。火災・感電・動作不良の原因になります。
 - ・ 分解や改造などをしないでください。
 - ・ 濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。
- ・ 保証について
保証期間
・ 保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。
また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
・ 弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。
保証範囲
次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。
 - ・ 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
 - ・ 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
 - ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

15 実行用ディスクの作り方

本製品に添付されているサポートソフトウェアディスク(以下サポートディスク)は必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。ここでは、実行用ディスクの作り方を説明します。

- 1 1.25MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク(3.5インチ2HD)を用意します。
- 2 サポートディスクを書き込み禁止にします。
- 3 **Windows95の場合**は、『マイ コンピュータ』の「3.5インチ FD(C:)」を右クリックし「ディスクのコピー」を選択します。

Windows95の例)



MS-DOS(Windows3.1)の場合は、MS-DOSのコマンド入力状態で DISKCOPY コマンドを実行します。

MS-DOSの例)

```
A:¥>diskcopy c: c: *
```

(下線部入力)

- 4 サポートディスクと空きフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。



注意

サポートディスクを破損した場合の修理は有償です。
必ずバックアップを取り、サポートディスクは大切に保管してください。

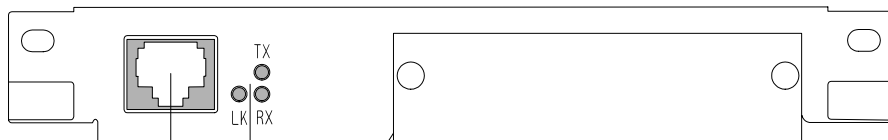
第2章

取り付け方法

ET-98シリーズは、PC-9800シリーズ汎用拡張スロットに装着することができます。
この章では、パソコンにET-98シリーズをセットアップする方法を説明します。

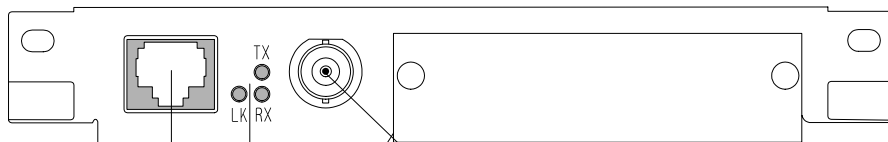
2.1 各部の名称

ET/T-98



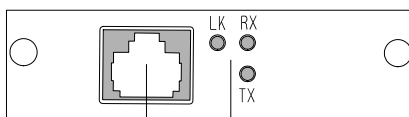
RJ-45コネクタ (10BASE-T) LEDインジケータ

ET2/T-98



RJ-45コネクタ (10BASE-T) LEDインジケータ BNCコネクタ (10BASE2)

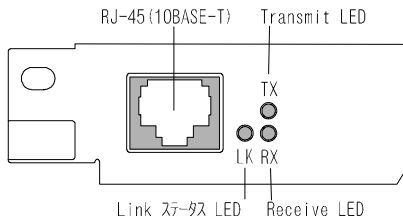
ET/T-98SB



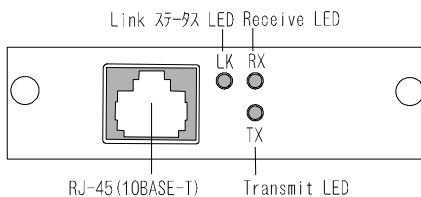
RJ-45コネクタ (10BASE-T) LEDインジケータ

2 LEDインジケータ

ET/T-98またはET2/T-98の場合



ET/T-98SBの場合



・Link ステータスLEDインジケータ

Link(LK)ステータスLEDインジケータは、10BASE-Tでデータリンクが有効になると点灯します。

このLEDはET-98シリーズが通常の動作状態の時、常に点灯(緑色)しています。そうでなければRJ-45の接続をチェックしてください。



注意

このLEDは、BNC接続のステータスには反応しません。ネット回線の接続タイプをチェックする場合は、etsetup.exeの「LANアダプタの自己診断及び設定」を使用してください。([2.4 動作確認] (P14)参照)

・Transmit LEDインジケータ

Transmit(TX)LEDインジケータは、データの送信状態を示します。

緑色の点滅(点灯)状態は、ネットワークの利用状況を示しています。

・Receive LEDインジケータ

Receive(RX)LEDインジケータは、データの受信状態を示します。

緑色の点滅(点灯)状態は、ネットワークの利用状況を示しています。

2.3 取り付け

「ET/T-98SB」は98セカンドバスTYPE ベースボード上に、
「ET/T-98」、「ET2/T-98」はパソコン本体のPC-9800シリーズ汎用拡張スロットへ取り付け
ます。



注意

- 1) 各ボードの取り付け、取り外しの際は、必ずパソコン本体及び周辺機器の電源をOFFにして、電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 2) PC-H98シリーズでご使用の場合、ET-98シリーズ取り付け終了後にパソコン本体付属のマニュアルを参照し、システム環境の再設定「オプションボード構成情報の変更」を行ってください。
- 3) 「プラグ&プレイ」に対応しているパソコンをWindows3.1で使用される場合は、【4.1.1 プラグ&プレイ対応パソコンへの設定】(P25)を参照し、ET-98シリーズが使用する「割り込み」と「I/Oポート」を設定してから、取り付けを行ってください。

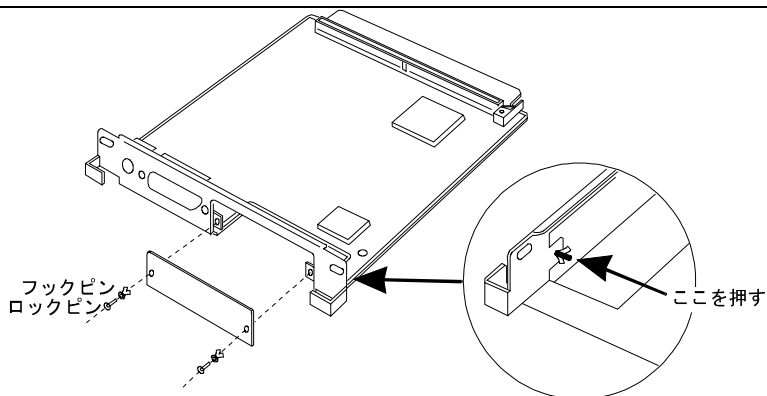
2.3.1 ET/T-98SBの取り付け

「ET/T-98SB」を98セカンドバスTYPE ベースボードに取り付けます。必要のない方は、読み飛ばしてください。

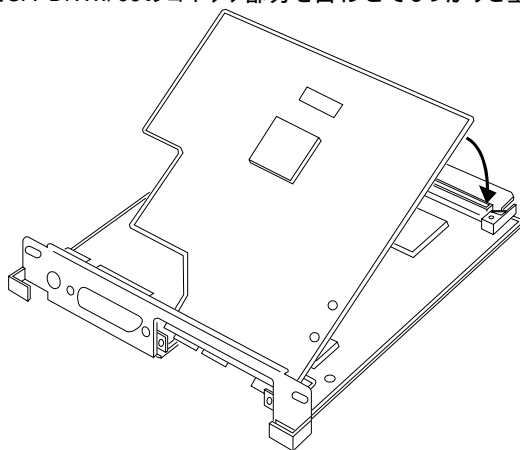
(ここでは、弊社製グラフィックアクセラレータボードGA-DRVx/98(GA-DRV2/98またはGA-DRV4/98)を例にしています。GA-DRVx/98がパソコン本体に実装されている場合は、拡張スロットからGA-DRVx/98を取り外しておきます。)



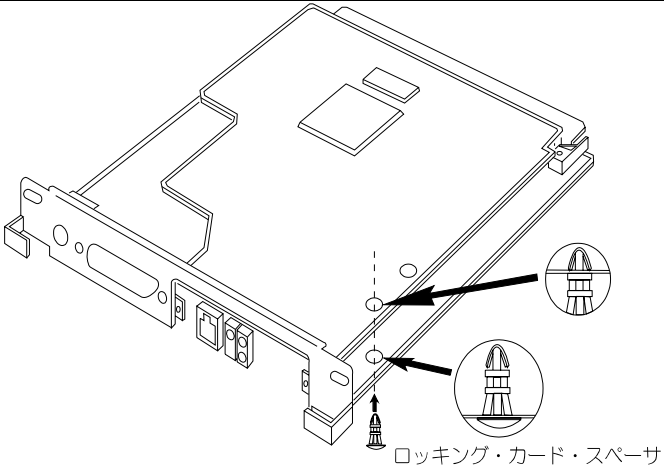
GA-DRVx/98から98セカンドバスTYPE 用ボードカバーを取り外します。(ロックピンを裏から押し出すと取りやすくなります。ロックピンとフックピンは後で使用しますので、なくさないでください。)



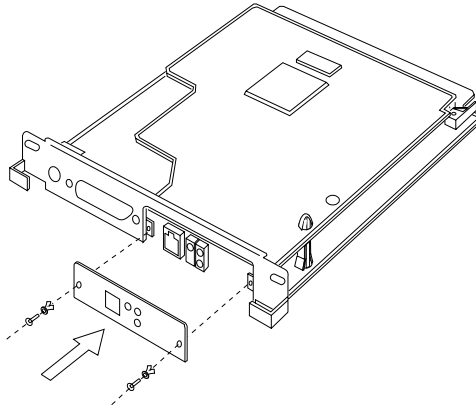
- 2** 「ET/T-98SB」のコネクタ部分をGA-DRVx/98の窓から出しながら、「ET/T-98SB」とGA-DRVx/98のコネクタ部分を合わせてしっかりと差し込みます。



- 3** ロッキング・カード・スペーサをGA-DRVx/98の裏側から図のようにしっかりと固定します。「ET/T-98SB」とGA-DRVx/98のコネクタ部分を合わせて、しっかりと差し込み、ロッキング・カード・スペーサの上部で固定します。



- 4** 操作**1**で取り外したロックピンとフックピンでET/T-98SB用ボードカバーをGA-DRVx/98に取り付けます。(パソコン本体への取り付けは次のページを参照してください。)



2.3.2 ET/T-98,ET2/T-98の取り付け

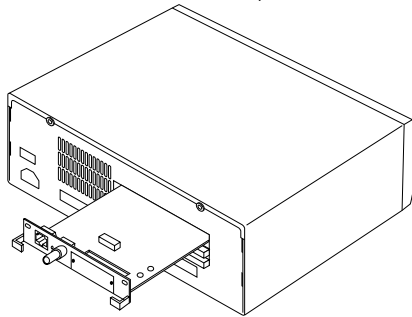


注意

PC-98XL²への取り付けについては、パソコン本体に付属の取扱説明書をご参照ください。

- 1** パソコンの電源スイッチを切り、周辺機器に接続されているケーブルを全て取り外します。
- 2** 空いている拡張スロットのスロットカバーを取り外してください。
- 3** 拡張スロットに「ET/T-98,または「ET2/T-98」を取り付けます。
「ET/T-98,または「ET2/T-98」が拡張スロットに適切に装着されることを確認しながら押し込みます。

(例:「ET2/T-98」を取り付ける場合)

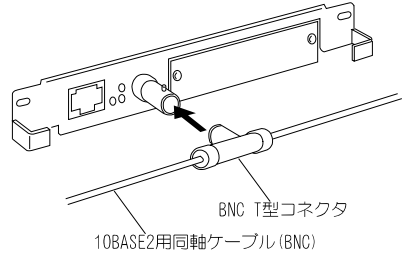
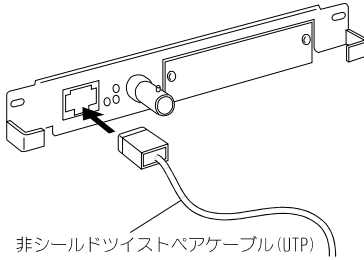


- 4** 拡張スロットに「ET/T-98,または「ET2/T-98」が確実に固定されるように、スロットカバー用のネジを取り付けます。
- 5** 操作**1**で取り外された、全ての周辺機器やケーブルを元に戻します。

6 「ET/T-98」または「ET2/T-98」をネットワークに接続します。

(「10BASE-T用 非シールドツイストペアケーブル」または「10BASE2用 同軸ケーブル」のどちらか一方を接続してください。)

(例: 「ET2/T-98」を接続する場合)



24 動作確認

ET-98シリーズの動作確認を行います。

動作確認は、MS-DOS上で動作する `etsetup.exe` で行います。`etsetup.exe`はLANアダプタボードの自己診断による動作確認を行います。



特に注意

動作確認を行う場合は、`config.sys`や`autoexec.bat`に各種ネットワークドライバ (NetWare, MS LAN Manager, LANtastic等)を**組み込まない状態**でテストを行ってください。

組み込まれたまま動作確認を行うと、パソコンがハングアップしたり、EEPROMの内容が破壊されたりして正常に動作しなくなる場合があります。EEPROM等の修理は、有償修理となりますのでご注意ください。

診断及び設定が正常なのを確認後、NetWareクライアントにET-98シリーズの設定を反映させる事ができます。画面の指示に従って作業を進めてください。ただし、設定の反映はNetWareクライアントをインストールした後に行ってください。インストールしていない場合は、「終了」を選んでください。

7 周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れ、ハードディスクからMS-DOSを起動します。

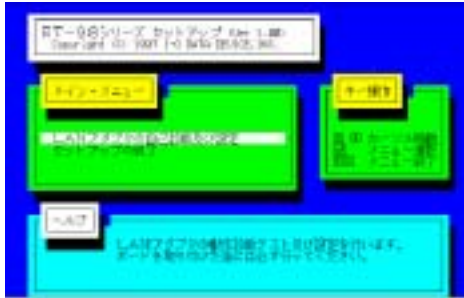
(Windows95を使用している場合は、Windows95の起動時 (Windows 95 を起動しています...の表示中)に[F8]キーを押してください。「Microsoft Windows 95 起動メニュー」が表示されたら[SHIFT]+[F5]キーを押して、DOSプロンプトを起動してください。)

- 2** フロッピーディスクドライブに付属のサポートソフトウェアディスクをセットし、以下のよう
にセットアッププログラムを起動します。

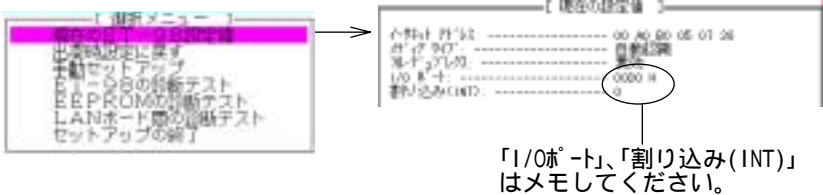
書式 [サポートソフトウェアディスクのドライブ名]:%etsetup

例) A:>c:%etsetup . (下線部入力)

セットアップ画面が表示されたら「LANアダプタの自己診断及び設定」を選択してくだ
さい。



- 3** まず、「現在のET-98設定値」を選択してET-98シリーズの設定値を確認します。
他の周辺機器と重複する場合は、「手動セットアップ」で重複する設定を変更する
か、一旦セットアッププログラムを終了して、MS-DOSコマンド入力状態へ戻ります。
電源を切り、重複している周辺機器の設定を変更してください。



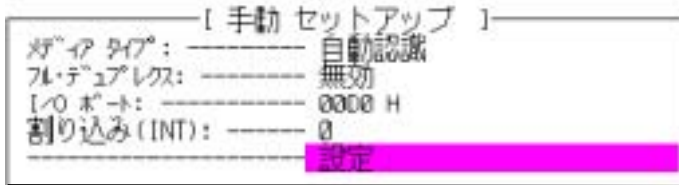
注意

- 1) WindowsでET-98シリーズを使用する場合は、設定した「I/Oポート」、「割り込み」をWindows上でのET-98シリーズの設定と一致させる必要があります。「I/Oポート」及び「割り込み」の設定値は、メモなどに書き留めておいてください。
- 2) 併用する拡張ボードの割り込みレベルがIRQで表記されている場合は、次ページの表でINT表記との相対関係を確認してください。

・INT/IRQ対応表

INT 表記	INT 0	INT 1	INT 2	INT 3	INT41	INT42	INT 5	INT 6
IRQ 表記	IRQ 3	IRQ 5	IRQ 6	IRQ 9	IRQ10	IRQ11	IRQ12	IRQ13

4 ET-98シリーズの設定値を変更する場合は、「選択メニュー」から「手動セットアップ」を選択してください。パソコン環境、ネットワーク環境に応じて各項目を設定変更してください。



- メディアタイプ (自動認識、10Base-T、リンクテスト無効)
- フル・デュプレクス (無効、有効)
- I/Oポート (n0D0h ~ n0D8h)
- 割り込み(INT) (0,1,2,5,6)

メディアタイプ

トランシーバの設定は、使用しているET-98シリーズのタイプに依存します。それは、ネットワーク回線タイプに従う必要があります。通常はシステムに回線タイプを自動認識させるための「自動認識」を選択してください。(出荷時設定は「自動認識」)

フル・デュプレクス

接続しているサーバや全ての相互連結のデバイス(例えば、スイッチングハブ)がこのモードに対応している場合、フル・デュプレクスを可能に設定してください。(データ送受信が同時に行えるため理論値:2倍の高速転送を実現します)

I/Oポート

表示されたリスト(n0D0h ~ n0D8h:n=0h ~ Fh(占有))からの利用できるベースアドレスを2h単位で選択します。(出荷時設定は、n0D0hです。) 選択したアドレスをベースに、上位アドレスの32+1(n0D0h,n1D0h,O2D0h)バイトが使用されます。(出荷時設定の場合、n0D0h,n1D0h,O2D0h)



Windows95やWindows3.1で使用する場合は、ET-98シリーズのI/Oポートアドレスで「x0D2h」を選択しないでください。

注意

割り込み

利用できるハードウェアの割り込みを、表示されたりスト(0,1,2,5,6)から選択してください。ET-98シリーズのデフォルト割り込み設定は、INT 0(IRQ 3)です。

各項目が他の周辺機器の環境と競合していないか確認してください。



注意

1)「I/O ポート」、「割り込み」がパソコン本体や他の拡張ボードと重複しているとパソコン本体が起動できなくなる場合があります。重複しないように設定してください。

2)WindowsでET-98シリーズを使用する場合は、設定した「I/O ポート」、「割り込み」をWindows上でのET-98シリーズの設定と一致させる必要があります。
「I/Oポート」及び「割り込み」の設定値は、メモなどに書き留めておいてください。

3)設定する割り込みレベルはINTで表記されています。IRQ表記との相対関係を確認してください。(「INT/IRQ対応表」(P16)参照)

5 設定したET-98シリーズの環境を更新してください。

6 必要に応じて自己診断プログラムでET-98シリーズをテストしてください。
 ET-98シリーズのセットアップ状況をテストするには、「選択メニュー」から「ET-98の診断テスト」または「EEPROMの診断テスト」を選択してください。

「ET-98の診断テスト」の場合

このテストは、ET-98シリーズと対応して回線システムを監視します。
 (このテストでは、ネットワーク上のET-98シリーズ間テストは行いません。)
 画面には、各々のテストの「正常」または「異常」のカウント数を表示します。テストが異常の場合は、スペースキーを押すことによって対応可能なメッセージを表示します。

ET-98シリーズのテストは、次の項目をチェックします。(「ESC」キーで中止するまでチェックを続けます。「正常」のカウントが5000を示すまでの間、「異常」がカウントされないことを確認すれば良いでしょう。)

- | | |
|------------------|------------------------|
| ・「装置構成 テスト」 | ET-98シリーズの初期状態チェック。 |
| ・「I/O レジスタ テスト」 | I/Oポートアクセスのチェック。 |
| ・「内部 ループバック テスト」 | ET-98シリーズのコントローラのチェック。 |
| ・「外部 ループバック テスト」 | ネットワークリンクをチェック。 |
| ・「RAM テスト」 | ボードの側のRAM状態をチェック。 |



注意

トラブルが持続するならば、LAN間接続(ケーブル、ハブなど)が確実に接続されていることを確認し、トラブルを確定するためにパソコンを再起動して再び「ET-98の診断テスト」を動かしてください。

「EEPROMの診断テスト」の場合

ET-98シリーズのボード上EEPROMの診断テスト(各レジスタのリード)を動作させ、異常のないことを確認してください。



特に注意

CONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATに、各種ネットワークドライバを組み込まない状態でテストを行ってください。組み込まれたままこのテストを行うと、EEPROMの内容が破壊され、正常に動作しなくなる場合があります。この場合は有償修理となりますのでご注意ください。



必要に応じてネットワークに対する診断を行ってください。

ネットワークが接続されている環境で、装着後のET-98シリーズの能力を確かめるために、選択メニューから「LANボード間の診断テスト」を選択してください。少なくとも1台のパソコンに送信側(イニシエータ発信準備)を、少なくとも別のもう1台のパソコンに受信側(レスポンド受信準備)をセットアップしてください。このテストは、ネットワークのデータ送受信をテストします。

ただし、送信側、受信側ともET-98シリーズを使用する必要があります。

レスポンドは、ネットワークの各々のイニシエータで通信のステータスを表示し、イニシエータは、現在のレスポンドと対応する通信のステータスを表示します。



注意

すでに存在しているネットワーク環境に接続してテストを行う場合は、事前にネットワークシステム管理者にご相談ください。

第3章

日本語Windows95で 使用するには

【第2章】で取り付けしたET-98シリーズをWindows95で使用するには、ET-98シリーズのWindows95用のドライバのインストール及びネットワークの設定が必要です。この章では、ドライバのインストール方法及び各種ネットワークへの接続について説明します。



注意

インストールの前には必ず【2.4 動作確認】(P14)を参照して動作確認を行い、診断テストが正常なことを確認してください。
また、【2.4 動作確認】時で設定した「I/Oポート」、「割り込み」をWindows95上でのET-98シリーズの設定と一致させる必要がありますので設定値は必ずメモに取っておいてください。

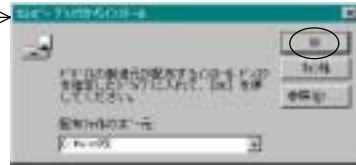
3.1 インストール方法

3.1.1 インストール

- Windows95起動後、『スタート』『設定』『コントロール パネル』の『ネットワーク』アイコンをダブルクリックし、『ネットワーク』画面の[追加]ボタンをクリックしてください。次に、『ネットワーク構成ファイルの追加』画面で『アダプタ』を選択し、[追加]ボタンをクリックしてください。



- 2 「ET-98シリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。『ネットワークアダプタの選択』画面で[ディスク使用]をクリックし、『フロッピー ディスクからインストール』画面の「配布ファイルのコピー元」にフロッピーディスクドライブのWIN95のパス指定(例 C:¥WIN95)を行います。指定後、[OK]ボタンをクリックします。



例：C:¥win95
(下線部入力[フロッピーディスクドライブがCドライブの場合])

- 3 『ネットワーク アダプタの選択』画面で「I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタ」と表示されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。



- 4 『ネットワーク』画面でWindows95のマニュアルに従って各種のネットワーク構成を設定してください。設定後、[OK]ボタンをクリックします。
(この設定は、Windows95再起動後、『コントロール パネル』の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしても変更できます。)





参照

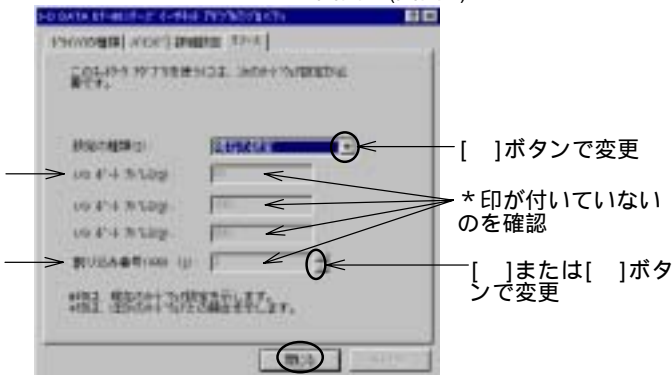
Windows95の「ネットワーク」の設定により、Windows95同士の「ピア・ツー・ピア」接続、「NetWareクライアント」接続、「WindowsNT3.5x/4.0クライアント」接続などが可能になります。詳細は、別冊の『PLANTシリーズネットワーク機能 活用ガイド』をご覧くださいか、ネットワークシステム管理者にご相談ください。

5

以下のプロパティ画面では、「I/O ポートアドレス」及び「割り込み番号(IRQ)」の設定値の前に*印が付いていないのを確認してください。付いていた場合は、[]または[]をクリックし、設定値を変更してください。

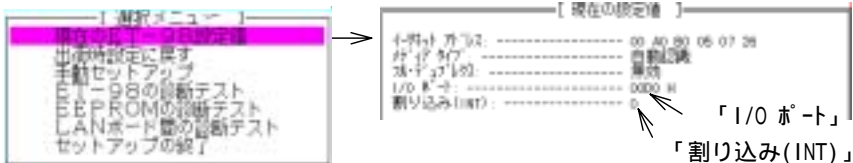
ただし、設定する「I/Oポートアドレス」及び「割り込み番号(IRQ)」は、[2.4 動作確認] (P14)での動作確認時の設定値と同一にしてください。

プロパティ画面 (画面A)



同一にする値は、上記の画面Aの「I/Oポートアドレス」と下記の画面Bでの「I/Oポート」です。また画面Aの「割り込み番号(IRQ)」と画面Bの「割り込み(INT)」も同一にしてください。

[2.4 動作確認]時のET-98シリーズの設定画面 (画面B)



注意

[2.4 動作確認] (P14)で設定する「割り込み」は INT 表記になっています。Windows95で設定する「割り込み」はIRQ 表記になっていますので間違えないようにしてください。(「INT/IRQ対応表」(P16)参照)

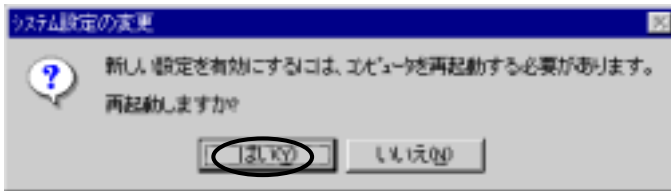
6 設定後、[OK]ボタンをクリックします。インストールを開始します。



注意

途中でWindows95のCD-ROMを要求された場合、CD-ROMを準備して
d:\win95 (CD-ROMドライブがDドライブの場合)
と入力し、画面の指示に従ってください。(FD版をご使用の場合は、Windows95
のディスクを挿入するドライブを指定し、画面の指示に従って、ディスクを入れ替
えてください。)

7 『システム設定の変更』画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックしてパソコンを再起
動させてください。



以上でインストールは終了です。

3.1.2 インストール終了後の確認

ここではET-98シリーズがWindows95で正常に認識されているかどうかの確認方法を説明します。

インストール終了(再起動)後、必ず以下の事を確認してください。

パソコンを再起動すると起動途中で以下のA画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックしてください。

起動後、デスクトップ上に、「ネットワークコンピュータ」アイコンが追加されたことを確認してください。(以下のB画面)

A 「ネットワーク」パスワードの入力」画面



B 「デスクトップ」上の「ネットワークコンピュータ」アイコン



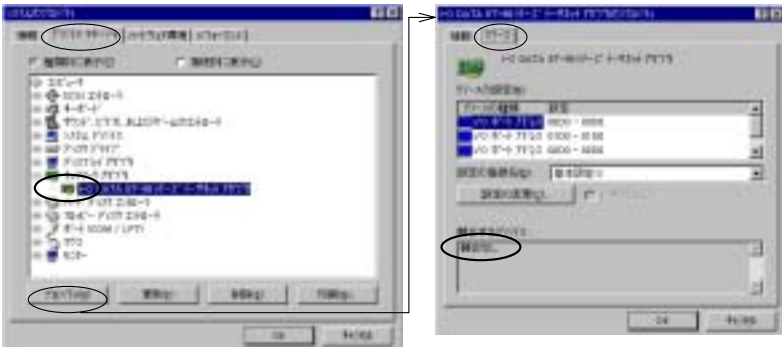
参考

Windows95では、パスワード管理も一元化されています。ユーザーID、パスワードを利用するネットワークで同一にしておけば、1つのネットワークにログインすれば、他のネットワークにユーザーIDとパスワードの入力なしでログインできます。

次に、『スタート』『設定』『コントロールパネル』をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。『システムのプロパティ』画面の「デバイス マネージャ」タブで「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

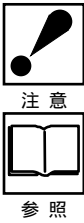
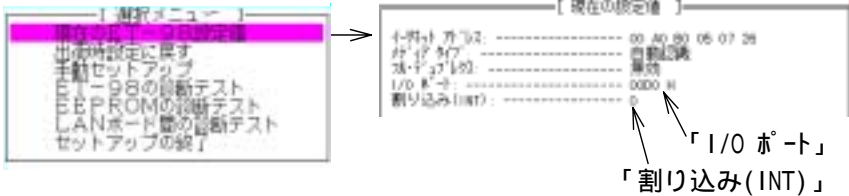
「ネットワークアダプタ」の「I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタ」の頭に、!マークが付いていないことを確認してください。

「I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタ」を選択後、[プロパティ]ボタンをクリックし、『I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタのプロパティ』画面の「リソース」で、競合するデバイスがないことを確認してください。



『I/O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタのプロパティ』画面の「リソース」での「I/O ポートアドレス」と「割り込み」が、[2.4 動作確認](P14)時の設定値とそれぞれ同一になっていることを確認してください。

[2.4 動作確認]時のET-98シリーズの設定値



- 1) [2.4 動作確認](P14)で設定する「割り込み」は INT 表記 になっています。Windows95で設定する「割り込み」は IRQ 表記 になっていますので間違えないようにしてください。(「INT/IRQ対応表」(P16)参照)
- 2) での確認で！マークがついていたり、でデバイスが競合していた場合やで設定値が異なる場合は、【付録1 困った時には】(P42)を参照してください。

ネットワークシステムへの設定について

上記 ~ の確認がすべて正常ならば、Windows95でET-98シリーズが使用できます。この後、Windows95同士のピア・ツー・ピア接続や各種ネットワークシステム (NetWare, Windows NT, LANtastic for Windows 95) のクライアントとして使用する場合は、必要に応じて以下を参照してください。

ピア・ツー・ピア接続の設定

別冊の『PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド』の[1.2 ピア・ツー・ピア接続の設定]を参照してください。

各種ネットワークシステムへの接続

別冊の『PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド』の[1.3 各種ネットワークシステムへの接続]を参照してください。

第4章 他のOSで使用するには

この章では、【第2章】で取り付けしたET-98シリーズをMS-DOS,Windows3.1, WindowsNTで使用する場合の設定について説明します。

4.1

MS-DOS及び日本語Windows3.1 へのセットアップ

4.1.1 プラグ&プレイ対応パソコンへの設定

ET-98シリーズは、割り込み(IRQ)とI/Oポートを使用します。

『プラグ&プレイ』に対応しているパソコンをWindows3.1で使用する場合は、

Windows3.1上の「コンフィグレーション ユーティリティ」で、ET-98シリーズが使用する割り込みとI/Oポートを設定する必要があります。

(「コンフィグレーション ユーティリティ」は、パソコン本体に添付されています。)

ET-98シリーズをパソコンに取り付ける前に、下記の設定を行ってください。

『プラグ&プレイ』に対応していないパソコンをご使用の場合は、ここの項目を読み飛ばしてください。

- Windows3.1を起動して『プログラムマネージャ』の中の『プラグ&プレイ』グループを開き、「コンフィグレーション ユーティリティ」をダブルクリックします。



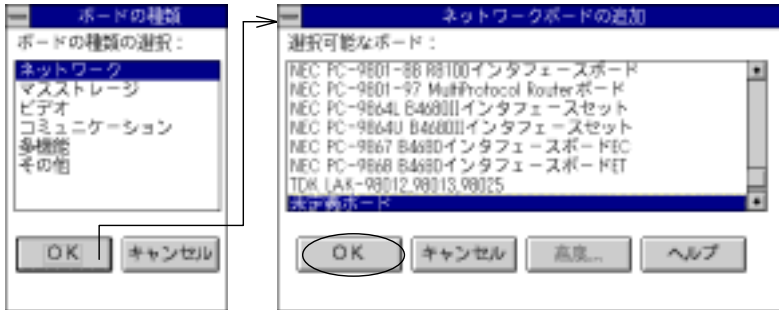
タイトル表示のダイアログが表示されますので、そのまま[OK]をクリックしてください。

2 『コンフィグレーション ユーティリティ』の基本画面で[追加]をクリックします。



3 『ボードの種類』画面では「ネットワーク」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

『ネットワークボードの追加』画面での「選択可能なボード」では「未定義ボード」を選択し[OK]ボタンをクリックします。



- 4 情報設定ファイルをロードしますので、[はい]ボタンをクリックします。

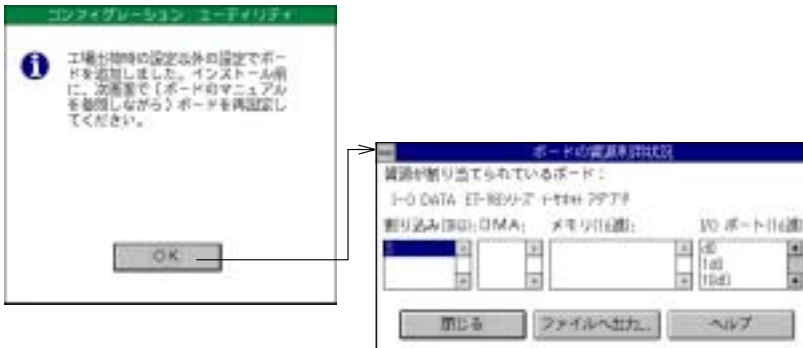
「ET-98シリーズサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、『**情報設定ファイルの呼び出し**』でディスクを挿入したドライブ指定を行います。「diag」ディレクトリ内の「iod0150.cfg」を選択して[OK]ボタンをクリックします。



- 5 出荷時設定以外でボードの追加が行われる場合は、確認ダイアログの次に『**ボードの資源利用状況**』画面が表示されます。

この利用状況はET-98シリーズを取り付け後に[2.4 動作確認] (P14)で設定する必要があります。紙などにメモしてください。

[閉じる]ボタンをクリックしてください。



注意

「ボードの資源利用状況」では、「割り込み」は IRQ 表記になっています。ET-98 シリーズのボードの設定では INT 表記になっていますので間違えないようにしてください。(「IRQ/INT対応表」(P16)参照)

- 6** 『コンフィグレーション ユーティリティ』の基本画面に戻ったら
「I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタ」が追加されていることを確認し、『コンフィグレーション ユーティリティ』を終了します。
システム構成を保存し、確認ダイアログを閉じます。
Windows3.1を終了して電源を切り、ET-98シリーズの取り付け及び動作確認を行います。([2.3 取り付け] (P9) ~ [2.4 動作確認] (P14)参照)



4.1.2 NetWare 3.12J/4.1J/4.11Jへのセットアップ

NetWareサーバでET-98シリーズの設定をする場合は本ページ以降を、NetWareクライアントでET-98シリーズの設定をする場合は「クライアントの設定」(P32)以降を参照してください。

サーバの設定

ドライバをインストールする前に、MS-DOS上で診断プログラムを動作させてアダプタが正常である事を確認してください。



注意

1)ET-98シリーズは、MS-DOS上で診断及び設定プログラムを動作させて予めリソースの設定を行ってください。([2.4 動作確認] の **3**)での「現在のET-98設定値」(P15)参照

この時の設定(「I/Oポート」のみ)はサーバのインストール時に再度設定する必要がありますので、メモしておいてください。

2)NetWare 3.12J/4.1Jサーバを使用する前にNovell社より提供の最新のOSパッチモジュールをインストールしてください。

• NetWare4.1J/4.11Jサーバのインストール時の場合

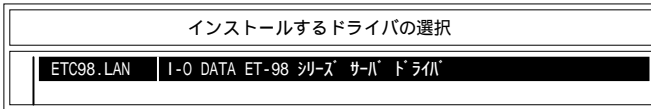
1 ネットワークドライバの設定画面で[Ins]キーを押し、「リストにないドライバ」のインストールを行います。

↑	CB4680.LAN	NEC CB4680 LAN ドライバ
	CR8100.LAN	NEC CR8100 LAN ドライバ
	IPTUNNEL.LAN	IPトンネル ドライバ
	MACIPXGW.LAN	MacIPX ゲートウェイ
	NB4680.LAN	NEC NB4680 LAN ドライバ
↓	PB4680.LAN	NEC PB4680 LAN ドライバ

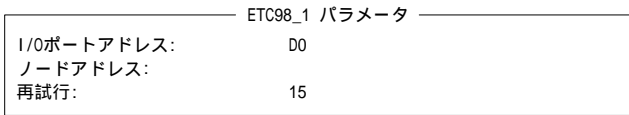
リストにないドライバのインストール<Ins>

2 「ET-98シリーズサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、スキャンするパスと同じならそのまま・キーを押し、異なる場合は[F3]キーを押してディレクトリパス(フロッピーディスクドライブ名のみ)を入力してください。

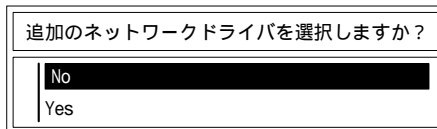
- 3** 『インストールするドライバの選択』画面で以下のように表示されていることを確認して、**・**キーを押してください。



- 4** 次の画面で予めET-98シリーズに設定した「I/Oポート」をパラメータに設定してください。(【2.4 動作確認】(P14)参照)



- 5** さらにETシリーズを追加する場合は、「追加のネットワークドライバを選択しますか?」の画面で「Yes」を選択すると**1** ~ **5**を繰り返します。



以上で設定は終了です。

・ NetWare4.1J/4.11Jサーバへ追加設定する場合

- 1** システムコンソールから
xxxx:LOAD INSTALL・ (下線部入力)
と入力し、「ドライバオプション」-「ネットワークドライバの設定」-「追加ドライバの選択」を選択してください。

- 2** 後は、「**・** NetWare4.1J/4.11Jサーバのインストール時の場合」(P29)を参照してインストールしてください。追加ドライバに対する操作で「追加ドライバの選択」を選択してください。

・ NetWare3.12Jサーバの場合

1 サーバマシンでMS-DOSを起動してください。(サーバマシンですでにNetWareが起動している場合は、ユーザーに通知してからシャットダウンしてください。)

2 「ET-98シリーズサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、フロッピーディスクドライブの `netware¥386odi` ディレクトリからNetWare3.12Jサーバがインストールされているディレクトリ(通常は`server.312`)に必要なNetWareサーバ用ドライブをコピーしてください。

例) `copy c:¥netware¥386odi¥etc98.lan a:¥server.312`

(フロッピーディスクドライブがCドライブの場合)

3 NetWare3.12Jサーバを起動して、システムコンソールから

`xxxx:LOAD INSTALL .` (下線部入力)

と入力してください。

4 表示されているメニューから「システムオプション」-「AUTOEXEC.NCFファイルの編集」を選択し、下記の2行を追加してください。

(例:イーサネット802.2[フレームタイプ]を使用する場合)

```
load a:¥server.312¥etc98 port=d0 frame=ethernet_802.2 name=etc98_1_e82
bind ipx to etc98_1_e82 net=xxxx
```

(xxxxはNetWareの環境によって異なります。)

下線の部分は同じにしてください。

以上でインストールは終了です。NetWare3.12Jを再起動すると有効になります。



注意

1) NetWare3.12Jサーバの設定は複雑です。詳細はNetWareなどの取扱説明書を参照してください。

2) `autoexec.ncf`に変更を加えた場合は、その環境を有効にするために必ずNetWare3.12Jサーバを再起動してください。

クライアントの設定



参考

サーバへの接続にはネットワークシステム管理者が決めた仕様に伴い、NET.CFGの変更が必要になる場合があります。詳細はネットワークシステム管理者にご相談ください。

設定を行う前に以下を行ってください。

ET-98シリーズの「ハードウェア割込み」と「ペ-スI/Oポート」の設定値をメモしてください。(2.4 動作環境)(P14)参照)

(設定手順)

- 1 NetWareのclientのinstall.batを起動し、画面の指示に従ってインストールを進めてください。
- 2 「ネットワークボードのドライバ」を選択してください」の項目で・キーを押してください。
- 3 「ネットワークボード」一覧の一番下の「他のドライバ」を選択し、・キーを押してください。
- 4 『ドライバディスクの挿入』で「c:\netware\dosodi」(フロッピーディスクドライブがCドライブの場合)と入力して・キーを押してください。
- 5 「I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタ」と表示されている事を確認して・キーを押してください。
- 6 予めメモしておいた「ハードウェア割込み」と「ペ-スI/Oポート」をパラメータに設定してください。
- 7 [F10]キーを押し、インストールを続けてください。

4.1.3 Microsoft LAN Manager V2.1xへのセットアップ

LAN Managerのsetup.exeを起動してください。

「表示/変更」 - 「ネットワークドライバの登録」 - 「新規設定」 - 「その他のドライバ」を順に選択してください。

——— ドライバまたはプロトコルファイルのコピー ———

指定されたドライブにネットワークドライバディスクを挿入してください。

または新規のパス名を指定してください：

[C:.....]

その後で<了解>を選択してください。

<了解> <ドライバのインポート取消> <ヘルプ>

「ドライバまたはプロトコルファイルのコピー」画面が表示されます。

「ET-98シリーズサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、挿入したドライブ名のみを入力し、<了解>を選択してください。

例) フロッピーディスクドライブがCドライブの場合

C:・ (下線部入力)

次に「I-O DATA ET-98 Ethernet Adapter」が表示されている事を確認してください。

「ネットワークプロトコル」で任意のプロトコルを選択して「ネットワークドライバ設定」で「了解」 - 「保存」でインストールは終了です。



注意

CD-ROMドライブを使用している場合は、autoexec.batの

「@REM ===== LANMAN 2.1.....」で囲まれた領域を

「mscdex.exe」の登録箇所より先に移動してください。

4.1.4 Personal NetWare J1.0へのセットアップ

Install.exeでインストールする際に、「1次ネットワークインタフェースカード」 - 「OEM製 NetWareインタフェースカードの設定」を選択後、「ET-98シリーズサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、挿入したドライブとディレクトリを指定します。

例) フロッピーディスクドライブがCドライブの場合

C:\netware\dosodi . (下線部入力)

後は画面の指示に従ってインストールを継続してください。

詳細はPersonal NetWare J1.0のマニュアルを参照してください。

4.1.5 LANtastic 6.0へのセットアップ

LANtasticのInstall.exeでインストールする際に「追加機能の選択」 - 「インストール処理の継続」選択後、「NDISサポート ネットワークアダプタ」を選択します。「ET-98シリーズサポートソフト」ディスクを入れたドライブとディレクトリを指定します。

例) フロッピーディスクドライブがCドライブの場合

C:\lantast . (下線部入力)

後は画面の指示に従ってインストールを継続してください。

詳細はLANtasticのマニュアルを参照してください。

4.2 日本語WindowsNT4.0へのセットアップ



注意

MS-DOSの起動ディスクを準備し、MS-DOSを起動してください。【2.4 動作確認】(P14)を参照して正常に動作することを確認してください。
また、【2.4 動作確認】時に設定した「I/Oポート」及び「割り込み」はWindowsNT4.0への設定時に必要となりますので、必ずメモに取っておいてください。

ET-98シリーズを取り付ける前にWindowsNT4.0のネットワークの設定を既に終了している場合はアダプタの追加のみの手順となります。アダプタの追加のみの場合は、網掛けの項目のみをご覧ください。

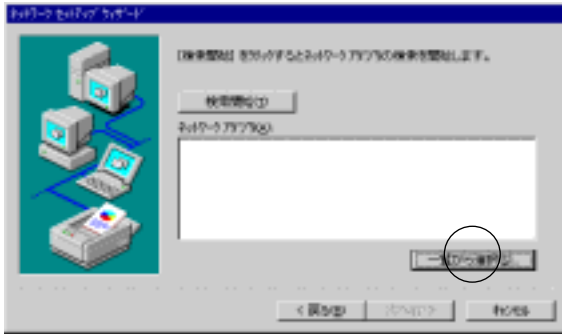
1 WindowsNT4.0を起動します。

2 『スタート』、『設定』、『コントロールパネル』をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして開きます。別のネットワークカード等がインストールされている場合は、[アダプタ]タブをクリックして、[追加]ボタンをクリックしてください。(ネットワークがインストールされていない場合は、[Windows NT ネットワークがインストールされていません。インストールしますか?]と表示されますので、[はい]ボタンをクリックしてください。)

3 『ネットワークセットアップウィザード』画面で、「ネットワークに接続」がチェックされている事を確認して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



4 検索の画面が表示されます。[一覧から選択]ボタンをクリックしてください。



5 アダプター一覧が表示されます。右下の[ディスク使用]ボタンをクリックしてください。



6 『フロッピーディスクの挿入』画面が表示されます。
「ET-98シリーズサポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。挿入後、「C:¥NT40」(フロッピーディスクドライブがCドライブの場合)と入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。



- 7** 『OEM オプションの選択』画面では、「I-O DATA ET-98シリーズイーサネットアダプタ」を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。



- 8** 「I-O DATA ET-98シリーズイーサネットアダプタ」のチェックボックスがチェックされているのを確認し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



- 9** 使用する「ネットワークプロトコル」を指定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

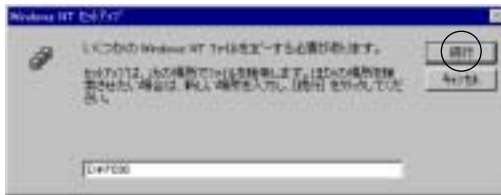


10 使用する「ネットワークサービス」を指定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



11 「選択されたネットワークコンポーネントとシステムに必要なネットワークコンポーネントをインストールします。.....」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックし、それぞれのコンポーネントを設定してください。設定の詳細については、WindowsNT4.0の取扱説明書をご覧ください。なるか、またはネットワークシステム管理者にご相談ください。

12 「いくつかのWindows NT ファイルをコピーする必要があります。」と表示されます。WindowsNTのCD-ROMを挿入し、「D:\PC98」(CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力して[続行]ボタンをクリックしてください。



13 リソース設定の画面が表示されます。ボードの設定に合わせてリソース(IRQやI/Oポートアドレス)を設定し、[継続]ボタンをクリックしてください。別のネットワークなどがインストールされている状態でET-98シリーズを追加した場合の作業はこれで完了です。他に必要なネットワークの設定を行ったあと、画面の指示に従って再起動してください。





注意

[2.4 動作確認](P14)で設定する「割り込み」はINT表記になっています。WindowsNT4.0で設定する「割り込み」はIRQ表記になっていますので間違えないようにしてください。(「INT/IRQ対応表」(P16)参照)

14 ネットワークのバインドを設定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



15 「ネットワークを起動する準備が整いました。」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックしてください。

16 「ドメイン」または「ワークグループ」を設定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



17 「このコンピュータにネットワークがインストールされました。.....再起動しなければなりません。」と表示されます。[完了]ボタンを押して、再起動してください。

以上でインストールは完了です。

4.3 日本語WindowsNT3.5x へのセットアップ



注意

MS-DOSの起動ディスクを準備し、MS-DOSを起動してください。[2.4 動作確認] (P14)を参照して正常に動作することを確認してください。
また、[2.4 動作確認]時に設定した「I/Oポート」及び「割り込み」はWindowsNT3.5xへの設定時に必要となりますので、必ずメモに取っておいてください。

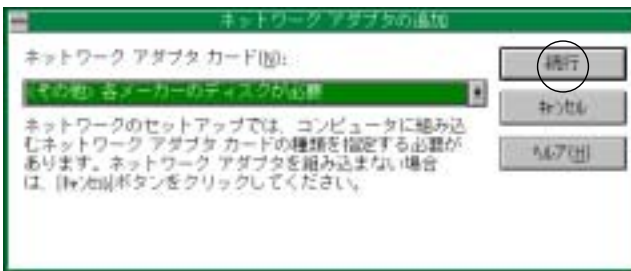
7

「メイン」 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、『ネットワークの設定』画面の「アダプタカードの追加」ボタンをクリックしてください。



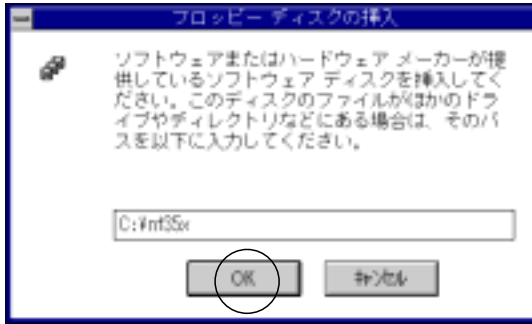
2

『ネットワーク アダプタの追加』画面の「ネットワーク アダプタカード」の項目で「<その他>各メーカーのディスクが必要」を選択し、[続行]をクリックしてください。



- 3** 『フロッピーディスクの挿入』画面で「ET-98シリーズサポートソフト」ディスクのパス指定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

例: C:\mnt35x (下線部入力: フロッピーディスクドライブがCドライブの場合)



- 4** 『OEM オプションの選択』画面で「I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタ」と表示されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。

- 5** 『I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタ セットアップ』画面で、ボードの設定に合わせてリソースを設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

- 6** 「コントロールパネル」 - 「ネットワーク」画面でWindowsNT3.5xのマニュアルに従って各種のネットワーク構成を設定してください。



参考

WindowsNT3.5xの「ネットワーク」、「サーバ」、「FTPサーバ」、「ファイルマネージャ」、「ユーザマネージャ」の設定により、WindowsNT3.5x同士の「ピア・ツー・ピア」接続、「NetWareクライアント」接続、「WindowsNT3.5xクライアント」接続などが可能になります。詳細はWindowsNT3.5xのマニュアルをご覧くださいか、ネットワークシステム管理者にご相談ください。

付録 1

困った時には

ET-98シリーズが異常になる理由は様々です。(ネットワーク回線が接続されていないなど、ユーザーによって容易に改善できる場合もあります。)

この章では、個々の共通のトラブルを解決するヒントを提供します。

自己診断中のトラブル

インストール時のトラブルの多くは、各種デバイスドライバとのパソコン資源の競合によって発生します。

インストール時の障害を追求するための一番良い方法は、パソコンのCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATを使用しないで起動することです。



参考

MS-DOS6.x以降の場合は、DOSの起動時に[F5]キーまたは[Shift]キーを押しながら、パソコンを再起動してください。そうでなければ、起動可能なシステムディスクを作成するか、CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATを他の名前に改名して、パソコンを再起動してください。

パソコンを起動後、MS-DOS上で動作する etsetup.exeの「LANアダプタの自己診断及び設定」でET-98シリーズの診断とネットワーク回線のチェックが行えます。([2.4 動作確認] (P14)参照)

- 1) 非シールドツイストペア(UTP)接続で、アダプタ異常という結果になる。
Lk(リンク)LEDインジケータは、OFFになる。
電源を入れた直後から画面に何も表示されない。
- 2) アダプタルーティングの診断テストは、外部ループバックテストの異常という結果になる。

原因 10BASE-Tのツイストペア接続に異常がある。

対処 RJ-45接続が外れていないか、ケーブルの種類(クロスケーブルとストレートケーブル)が間違っていないかを調べてください。確認後システムを再起動し、再び診断プログラムを動かしてテストしてください。

- 1) BNC接続で、アダプタ異常という結果になる。
Tx(送信)LEDインジケータが不規則に点滅する。
- 2) アダプタルーティングの診断テストは、外部ループバックテストの異常という結果になる。

原因 10BASE2の同軸ケーブル接続に異常がある。

対処 BNCへの接続が外れていないか、ネットワークセグメントの両方の終端が適切に終端処理(50オームのターミネータでネットワークセグメントの端末を閉じます。)されているかを調べてください。確認後システムを再起動し、再び診断プログラムを動かしてテストしてください。

アダプタ異常。「LANアダプタの自己診断及び設定」でハードウェア設定やハードウェア診断ができない。

原因1 ケーブルの接続が悪い。

対処 RJ-45接続を使用している場合は、接続が緩んでいるまたはケーブルの種類(クロスケーブルとストレートケーブル)が間違っていないかネットワーク回線を調べてください。

原因2 ET-98シリーズが拡張スロットに正しく取り付けられていない。

対処 ET-98シリーズがパソコンの拡張スロットに確実に装着されているか調べてください。

原因3 パソコンの拡張スロットに、異常がある。

対処 トラブルが起きているET-98シリーズを別の拡張スロットに取り付けるか、他のパソコンに取り付け、動作テストを行ってください。

もし、これでトラブルが解決される場合は、トラブルが起きているパソコン本体の拡張スロットに異常があることになります。ネットワークシステム管理者またはパ

ソコンの販売店にご相談ください。

ET-98シリーズの環境設定の後にパソコンが異常になる。

原因 パソコン環境が競合している。

対処 I/Oポートアドレスと割り込み (INT[IRQ]) が他の周辺機器と競合していないかを調べてください。

パソコンで使用しているI/Oポートアドレス範囲がET-98シリーズと重なるならば、ET-98シリーズのI/Oポートアドレスを別の設定にしてください。

PCIバスにSCSIボードが挿入されている場合は、SCSIボードとI/Oポートアドレスが競合する場合があります。その場合は、SCSIボード側の開始アドレスを「6000h」から「6100h」に変更してください。

また、RJ-45接続を使用している場合は、接続の緩みやケーブルの種類(クロスケーブルとストレートケーブル)が間違っていないか回線を調べてください。



注意

[2.4 動作確認] (P14)で設定する「割り込み」はINT 表記になっています。併用する他の周辺機器の「割り込み」がIRQ 表記になっている場合は間違えないようにしてください。(「INT/IRQ対応表」(P16)参照)

Windows上でのトラブル

Windows95及びWindows3.1でパソコンが異常になる。

原因 ET-98シリーズのI/Oポートアドレスがx0D2hに設定されている。

対処 Windows95及びWindows3.1の仕様により、I/Oポートアドレスが競合しています。
ET-98シリーズのI/Oポートアドレスをx0D2h以外に設定してください。

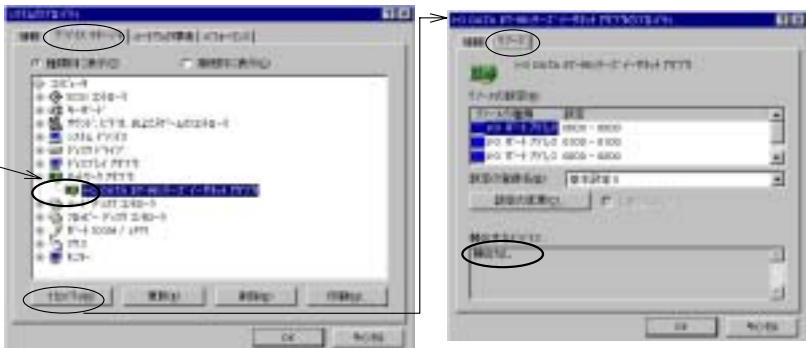
Windows95起動途中などでアダプタが異常のエラーとなる。その他Windows95上でET-98シリーズが正常に動作しない。

原因 ET-98シリーズのリソース(「I/Oポートアドレス」、「割り込み」)の設定が間違っている。

対処 以下の手順でリソースの確認及び変更を行ってください。

Windows95起動後、『スタート』『設定』『コントロールパネル』をクリックし、『システム』アイコンをダブルクリックします。『システムのプロパティ』画面の『デバイス マネージャ』タブで『ネットワークアダプタ』をダブルクリックします。

表示されている『I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタ』をクリックし、『プロパティ』ボタンをクリックします。『I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタ』の頭に、！マークが付いていないことを確認してください。



参考

！マークが付いていた場合は、[削除]ボタンで『I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタ』を一旦削除後、再度 [3.1 インストール方法] (P19)を参照してET-98シリーズのドライバをインストールしてみてください。

[プロパティ]ボタンをクリックし、『I/O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタのプロパティ』画面の「リソース」で、競合するデバイスがないことを確認してください。

競合している場合は、リソースを変更してみてください。

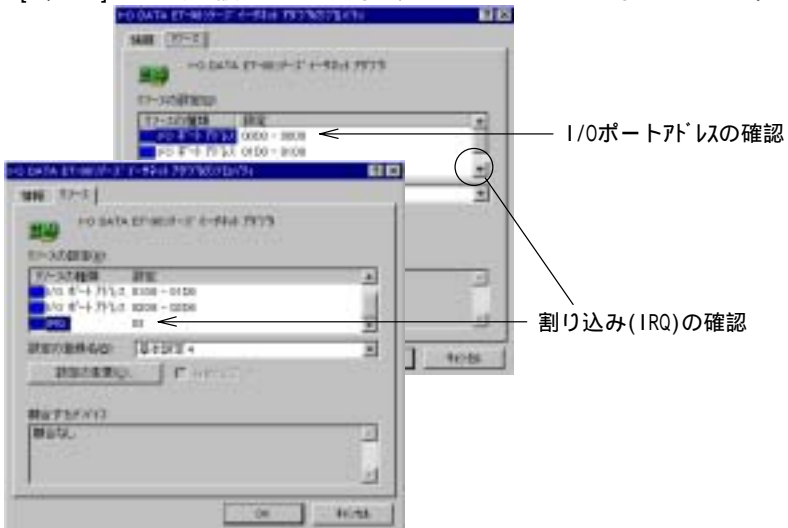
リソースの変更は、「リソースの変更」(P48)を参照してください。

！マークも競合するデバイスもない場合は、設定しているリソースが etsetup.exe で設定しているリソースと異なっている場合があります。

現在のリソースを確認してください。(以下の、)

「I/O ポートアドレス」及び「割り込み(IRQ)」の設定値を確認してください。確認後、メモなどに書き留めておいてください。

[キャンセル]ボタン等で設定を全て終了し、一旦Windows95を終了してください。



次にetsetup.exeでの設定値を確認します。【2.4 動作確認】(P14)を参照し、

「現在のET - 98設定値」で「I/Oポート」、「割り込み(INT)」を確認します。先ほどでメモした設定値とあっているか確認してください。

違っている場合は、「手動セットアップ」で設定値を合わせてください。

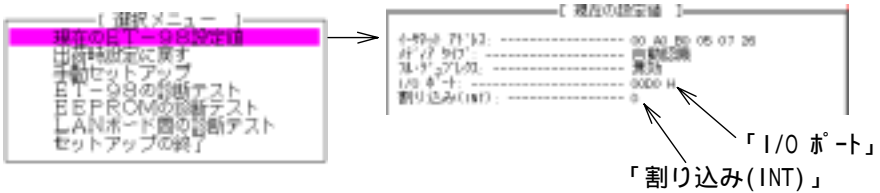


注意

[2.4 動作確認](P14)に設定する「割り込み」は INT 表記になっています。
Windows95で設定する「割り込み」はIRQ 表記になっていますので間違えないようにしてください。

INT 表記	INT 0	INT 1	INT 2	INT 3	INT41	INT42	INT 5	INT 6
IRQ 表記	IRQ 3	IRQ 5	IRQ 6	IRQ 9	IRQ10	IRQ11	IRQ12	IRQ13

「現在のET - 98設定値」画面

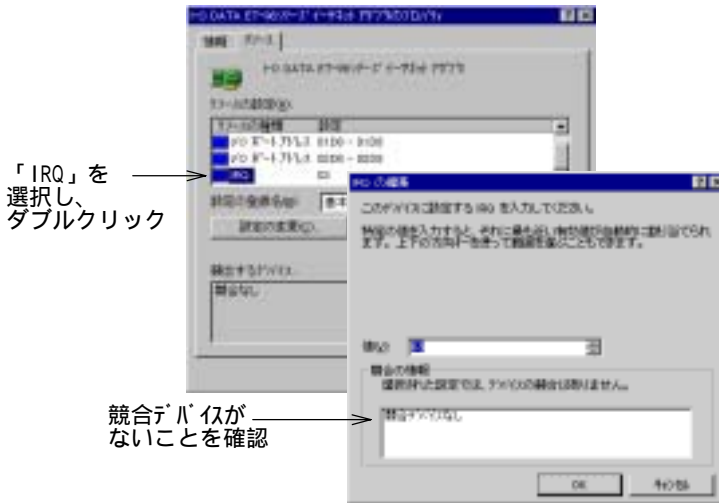


・リソースの変更

- 1.「I/O ポートアドレス」の変更は、「I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタのプロパティ」画面の「リソース」タブを選択後、「設定の登録名」の基本設定の選択で変更できます。変更する値は、必ず競合するデバイスがないことを確認してください。



- 2.「割り込み(IRQ)」の変更は、「I-O DATA ET-98シリーズ イーサネット アダプタのプロパティ」画面の「リソース」タブを選択後、「リソースの種類」の[IRQ]をダブルクリックして変更できます。変更する値は、必ず競合するデバイスがないことを確認してください。



付録 2 仕様

ここではパソコンの環境状況、及びET-98シリーズの仕様について記述します。

付2.1 パソコン環境 ●

「割り込みレベル」、「I/Oポートアドレス」、「DMAチャンネル」がパソコン本体や他の拡張ボードと重複していると、パソコン本体が起動できなくなる場合があります。

この場合は、拡張ボードを全て取り外してから各拡張ボードの設定状態を確認し、重複しないように設定し直してください。

(ET-98シリーズは、パソコン本体に全ての拡張ボードを取り付け後、再度確認と設定を行う必要があります。[2.4 動作確認](P14)を参照してください。)

また、各拡張ボードを使用する環境によっては、CONFIG.SYSやAUTOEXEC.BAT、Windows上の環境設定ユーティリティで変更しなければならない場合があります。(各拡張ボードのマニュアル参照)

・パソコン本体の割り込みレベルとDMA使用状況(一例)

パソコン本体	割り込みレベル(INT)							DMA チャンネル				
	0	1	2	3	4	5	6	無し	#0	#1	#2	#3
マウス												
IDE 内蔵ハードディスク												
内蔵サウンド機能												
内蔵フロッピーディスク I/F												
	640KB											
	1MB/1.44MB											
TVチューナボード												
FAXモデム												
2nd CCU												
赤外線通信機能												

出荷時設定(パソコン本体のマニュアルなどを参照してください。この部分は解放可能な場合があります。)

解放可能(PC-9800シリーズのシステムセットアップメニューまたはディップスイッチで、フロッピーディスクモードを「1M」に固定{SW3-1 ON,SW3-2 OFF}すると解放されます。この場合でも 2DD(640KB/720KB)のディスクはアクセスできます。)

・各種ボードの割り込みレベルとDMA使用状況(一例)


拡張ボード	割り込みレベル(INT)							DMA チャンネル				
	0	1	2	3	4	5	6	無し	#0	#1	#2	#3
ET-98シリーズ LANアダプターボード(本製品)												
SC-98 シリーズ												
MPG-98 MPEG再生ボード												
GV-98 GV-98X ビデオキャプチャーボード												
SB16/98 サウンドブラスター												
RSA-98シリーズ 高速RS-232C拡張ボード												
PC-9801-07/27 HD I/F												
PC-9801-26/K サウンドボード												
PC-9801-73/86 サウンドボード												

出荷時設定(YM2203用の出荷時設定[YM2203使用時のみ有効])

変更可能 (YM2203用の変更可能設定[YM2203使用時のみ有効])

各種ボードのI/Oポートアドレス使用状況(一例)

拡張ボード	I/Oポートアドレス					備考
	xxD0h	xxD2h	xxD4h	xxD6h	xxD8h	
ET-98シリーズ(本製品)	n0D0h n1D0h 02D0h	n0D2h n1D2h 02D2h	n0D4h n1D4h 02D4h	n0D6h n1D6h 02D6h	n0D8h n1D8h 02D8h	n=0h ~ Fh(占有)
SC-98 シリーズ						000h ~ 007h(固定:非PnPE-ト時) (PnPE-ト時は、BIOSにて自動設定)
MPG-98	x5D0h					x=7 x=0h ~ Fh(設定可能)
GV-98 GV-98X				xAD6h		x=3 x=0h ~ Fh(設定可能)
GV-98SB	0xD0h		0xD4h		0xD8h	0xDCh(設定可能) x=7 x=4h ~ 7h(設定可能)
SB16/98		nnD2h	nnD4h	nnD6h	nnD8h	nnDAh ~ nnDEh(2h単位で設定可能) nn=04h ~ 07h, 20h ~ 2Fh, 30h ~ 33h, 80h, 81h(占有)
GA-1024A/1280A	nnD0h		nnD4h		nnD8h	nnDCh ~ nnECh(4h単位で設定可能) nn=00h ~ 1Fh(占有)
GA-DRVシリーズ						nnE8h ~ nnE9h 固定 nn=52h, 56h, 5Ah, 5Eh(占有)
RSA-98シリーズ	xxD0h ~ xxD7h, xxE0h ~ xxEFh					xxDAh(RSA-98 /Sのみ使用) xx=50 xx=00h ~ FFh(設定可能)
INS-B64D	xxD0h		xxD4h		xxD8h	xx00h ~ xxFCh(4h単位で設定可能) xx=00 xx=00h ~ FFh(設定可能)

 出荷時設定



注意

1) 使用可能な割り込みレベルやDMAチャンネルの数は限られています。このため、拡張ボードを多く使用しようとすると、重複がさけられない場合があります。

この場合は、重複のさけられない拡張ボードと併用できません。それらのボードを必要に応じて使い分けてください。

また、I/Oポートアドレスの使用状況は、各拡張ボードのマニュアルを参照して確認してください。

2) Windows95やWindows3.1で使用する場合は、ET-98シリーズのI/Oポートアドレスで「x0D2h」を選択しないでください。

併用する拡張ボードの割り込みレベルがIRQで表記されている場合は、下表でINT表記との相対関係を確認してください。

INT 表記	INT 0	INT 1	INT 2	INT 3	INT41	INT42	INT 5	INT 6
IRQ 表記	IRQ 3	IRQ 5	IRQ 6	IRQ 9	IRQ10	IRQ11	IRQ12	IRQ13

付22 ハードウェア仕様

LANアダプタボード	ET2/T-98	ET/T-98	ET/T-98SB
LANコネクタ	RJ-45,BNC		RJ-45
メディアタイプ	10BASE-T,10BASE2		10BASE-T
伝送方法	Baseband方式		
トポロジ	Star/Bus		Star
アクセス方法	CSMA/CD		
LEDインジケータ	Link(LK) Transmit(TX) Receive(RX)		
転送レート	10Mbps		
INT(割り込み)	0,1,2,5,6の中から選択		
I/Oポートアドレス	n0D0h ~ n0D8h n1D0h ~ n1D8h 02D0h ~ 02D8h	の間を2h単位で選択 n=0h ~ Fh(占有)	
使用温度範囲	0 ~ 55 (パソコンの動作する温度範囲であること)		
使用湿度範囲	10% ~ 90% (結露しないこと。パソコンの動作する湿度範囲であること)		
消費電流(MAX)	UTP:+5V/120mA BNC:+5V/400mA		UTP:+5V/120mA

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

弊社PLANTコールセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号。
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo。
(フロッピーディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOS(NOS)とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

郵便

〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
住所 株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「ET-98シリーズ」係 宛

電話

電話番号 東京 03-5256-2010
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00
月～金曜日(祝祭日を除く)

オンライン(パソコン通信)

インターネット <http://www.iodata.co.jp/>
IOS-NET アイ・オー・データ機器フォーラムのサポートセンター
NIFTY-Serve アイ・オー・データステーション(SIODATA)サポート会議室

IOS-NETのアクセスポイントや概要については「サポートソフトのバージョンアップ」をご覧ください。

LAN製品に関するお問い合わせはPLANTコールセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

IOS - NET

アクセスポイント

東京 03-5295-6570 大阪 06-368-2291
金沢 076-234-9811 VTX(*) 166-77100

「アイ・オー・データ機器フォーラム」、「サポートソフトライブラリ」を選び、必要なソフトや差分ファイルをダウンロードしてください。

(*)VTXのお申し込みと、VTXに対応した通信ソフトが必要です。VTXに関するお問い合わせは最寄りのNTT(0120-443322)へどうぞ。

IOS-NET概要

最大通信速度	33600bps				
通信手順	N81XN (パリティなし, 8bit DATA, ストップビット1, X ON, シフト制御なし)				
使用文字コード	シフトJIS	制限時間	30分		
CONNECT ID	IOS	USER ID	GUEST	パスワード	なし

その他のパソコン通信

インターネット <http://www.iodata.co.jp/> 「サポートライブラリ」
NIFTY-Serve アイ・オー・データステーション(SIODATA)のライブラリ9(LIB 9)

バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所 〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「ET-98シリーズ」バージョンアップ係 宛
電話番号 076-263-7070
受付時間 9:30~12:00 13:00~17:00 月~金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

パソコン通信によるダウンロードはおお客様の責任のもとで行ってください。

添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

5インチメディアへの交換サービス

本製品は3.5インチメディアのみ同梱しています。5インチメディアをご希望の方は、当サービスをご利用ください。このサービスはNEC PC-9800シリーズ対応サポートソフトのみが対象です。ご購入後、1週間以内に送付してください。

送付していただくもの

- 交換を希望する「フロッピディスク」 ----- 1式
 - 本製品添付の「Verシール」 ----- 1式
 - 次ページの「交換サービス申し込み用紙」(コピー可) ----- 1枚
- 送付内容に不足しているものがあると、当サービスが受けられない場合があります。ご注意ください。

送付先

〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
住所 株式会社アイ・オー・データ機器
「ET-98シリーズ」メディア交換サービス係 宛

お問い合わせ先

受付窓口 バージョンアップ窓口
電話番号 076-263-7070
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

当交換サービスではサポートソフトウェアのバージョン変更は行いません。

送付された3.5インチディスクは返却されません。

紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

勝手ながら、お客様よりの送付にかかる費用は、お客様でご負担願います。

弊社で受け付けした後、交換サービス品の発送までに日数がかかる場合があります。予めご了承ください。

交換サービス申し込み用紙

下の申し込み用紙は、そのまま交換サービス品の返送先宛名ラベルとして使用されます。
お届け先に間違いのないよう、正確にご記入ください。

-----<キリトリ線>-----

5インチメディア交換サービス申し込み

お届け先住所	〒
お名前 法人使用の場合、 会社名部署名も ご記入ください。	
電話番号	
FAX番号	

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社サポートセンターへご依頼ください。

原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

修理品にはご使用の環境や現在の状態(『PLANTコールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」)をお書き添えください。

保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。

保証書がない場合

保証書の所定事項が未記入の場合

電源ONで挿入、抜き、逆挿入など誤った操作方法による破損、故障の場合

落雷などの事故による破損の場合

本製品を改造した場合

保証期間後は有償で修理いたします。

製品によっては主要部品がユニット化(一体化)されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

修理品送付先

〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7 アイ・オー・データ第2ビル
住所 株式会社アイ・オー・データ機器
「ET-98シリーズ」 修理係 宛

修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、宅配便または書留郵便小包での送付をお願いいたします。

ET-98シリーズ 取扱説明書

1998.Jan.16 7323-01

発行 株式会社アイ・オー・データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1998 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.

本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにVerシールをお貼りください

Verシール